

平成 30 年度府中町キッズ環境調査プロジェクト報告書

1 目的

このプロジェクトは、次代を担う子供たちの視点に立ち、子供たちは府中町の自然環境・生活環境というものをどう感じているのか調査をし、その声を地域に伝え、地域で課題に取り組んでいくという地域力を生かした環境づくりの仕組みを作り、環境保全意識及び地域コミュニティを醸成していくことを目的としています。

2 対象

町内全 5 校の小学校を対象に、各学校で選定した学年の全学級で調査及び活動を行いました。なお、各学校の対象学年、学級数、児童数は、次のとおりです。

府中小学校	4 年生（4 学級）	129 人
府中南小学校	4 年生（3 学級）	112 人
府中中央小学校	5 年生（3 学級）	117 人
府中東小学校	4 年生（2 学級）	64 人
府中北小学校	4 年生（2 学級）	58 人
合 計		480 人

3 活動内容

- (1) キッズ環境調査アンケート
- (2) 各学校での取り組み

4 キッズ環境調査アンケート

府中町の自然環境や生活環境に対する子どもの意識について、選択式（一部記述式）で回答するアンケート調査を行いました。

5 各学校での取り組み

各学校では、児童がどのような意識や関心を持っているかをもとに、それぞれの学校で取り組むテーマを設定し、子どもの視点に立った環境調査などを行い、地域の環境について考え、体験や学習を深める活動を行いました。

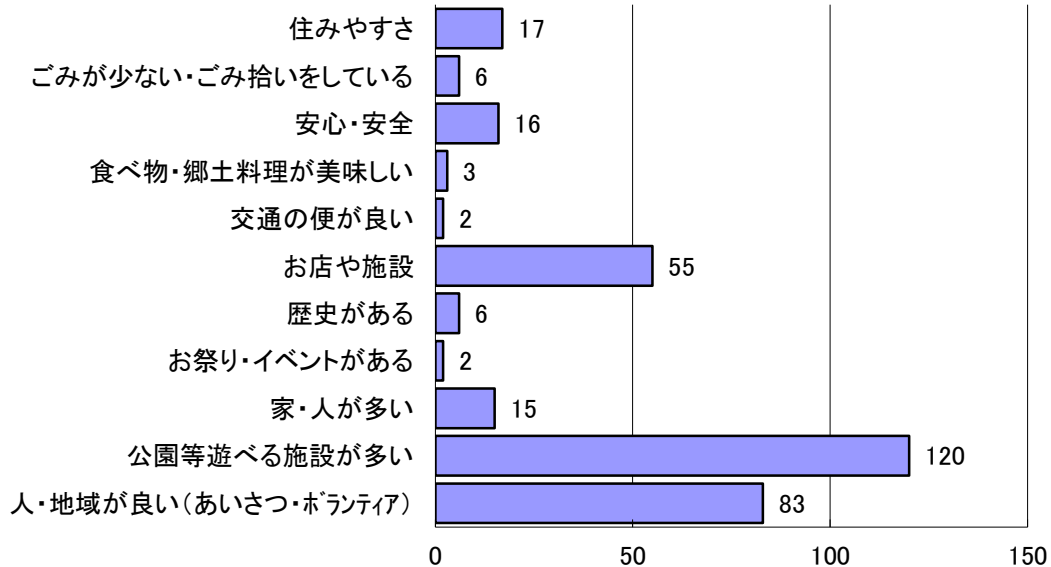
【 キッズ環境調査アンケートの集計結果 】

※ 割合は、四捨五入の関係上、合計値が100%にならない場合があります。

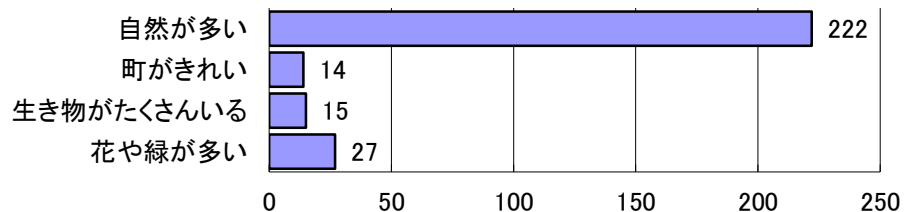
◇ 山・川や池・生き物について

問1 府中町の好きなところは、どんなところですか？

○住みやすさ



○自然



自由記述のため、色々な記述があったが大きな項目に分け、更に「住みやすさ」と「自然」に分けて示した。

「住みやすさ」の中で、「公園等遊べる施設が多い」に回答した児童が、昨年と比べ大幅に増えた。

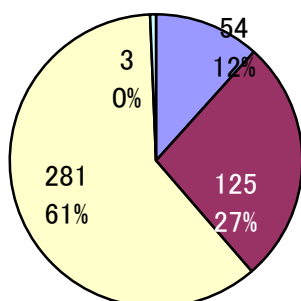
また、「人がやさしい・親切」「あいさつしてくれる」「友達がたくさんできる」など、「人・地域が良い」に関する記述が多かった。

「自然」の記述については「自然が多い」の記述が突出している。

その他の記述では、「福祉が充実している」「全部好き」が複数あった。

問2 府中町の山（岩屋観音や高尾山、呉婆々宇山方面）に行くことがありますか？

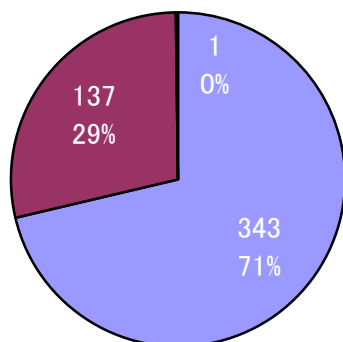
□よく遊び(のぼり)に行く ■年1～2回くらい行く □行ったことがない □未回答



府中町の山といえば、水分峡森林公園から登る高尾山や岩屋観音、呉婆々宇山があるが、全体的に「行ったことがない」が多く、府中小 47%、南小 75%、中央小 54%、東小 75%、北小 63%であった。

問3 府中町の山に（また）行きたいと思いますか？

■ 思う ■ 思わない ■ 未回答



「山に（また）行きたい」と「思う」が、府中小 74%、南小 74%、中央小 64%、東小 61%、北小 86%であった。

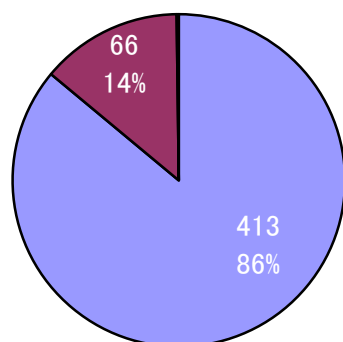
行きたいと思う理由では、「自然がたくさんある」が 37%で最も多く、「たんけんできる」が 20%でそれに続いた。

その他の記述では、「景色がきれい」「楽しい」「達成感がある」などがあつた。

行きたいと思わない理由では、「興味がない」が 42%と一番多かった。

問4 府中町の川や池はほとんど入ることができませんが、入ることができるなら遊びたいと思いますか？

■ 遊びたい ■ 遊びたくない



川や池で「遊びたい」が 86%で、各校とも問3「（山に行きたいと）思う」の割合より多かった。

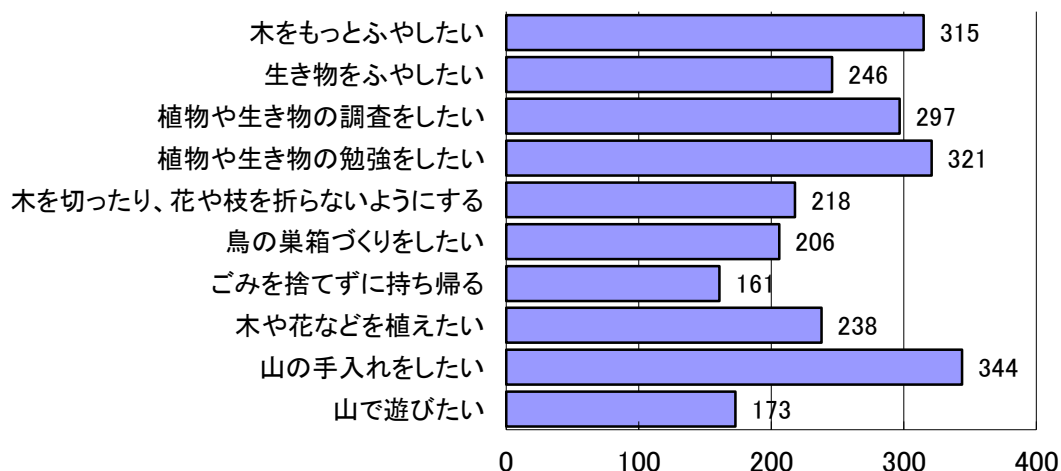
「何をして遊びたいですか」では、「水遊び」が 54%で最も多かった。

その他の記述では、「生物の観察」「水中の観察」という記述などがあつた。

遊びたくない理由では、「興味がない」が 25%で最も多かった。その他の記述では、「おぼれる」「自然がなくなるかもしれない」「時間がない」などがあつた。

問5 府中町にある山・川や池・生き物について、下の表に書いている内容を見て、自分がやりたいと思うことに○をつけてください。（複数回答）

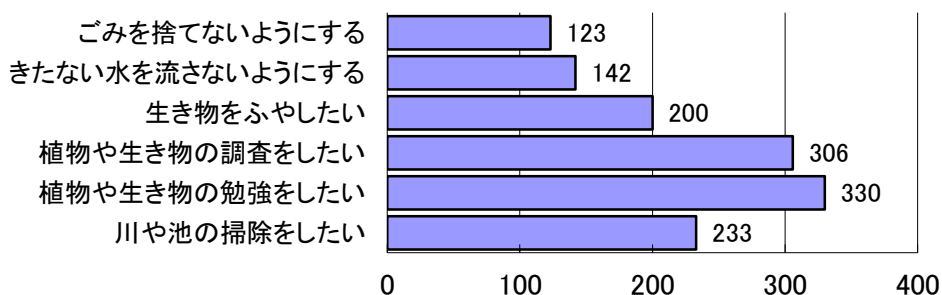
（1）山について



「山の手入れをしたい」は、昨年の 29%から 72%へと大幅に増えた。特に中央小では 88%以上と多かった。

「ごみを捨てずに持ち帰る」は、昨年の 63%から 34%へと大幅に減った。

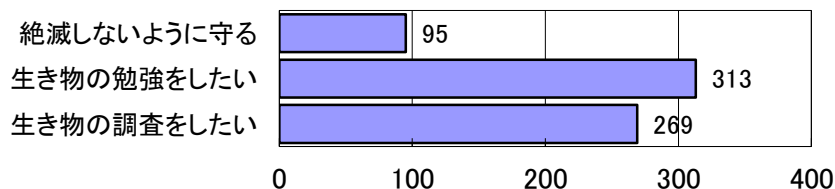
(2) 川や池について



「ごみを捨てないようにする」「きたない水を流さないようにする」は、昨年 70%以上の児童が回答していたが、30%以下と大幅に減った。

「植物や生きものの調査をしたい」「植物や生きものの調査をしたい」は、昨年 35%以下の児童が回答していたが、64%と大幅に増えた。

(3) 自然の生き物について



「絶滅しないように守る」は、昨年の 77%から 20%へ大幅にへった。

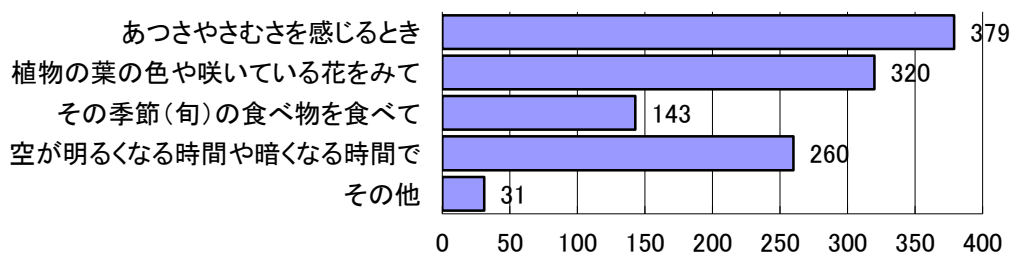
「生き物の勉強をしたい」は、昨年の 42%から 65%へ大幅に増えた。

(4) その他

その他の自由記述では、「自然を守りたい」「生き物が暮らしやすくなるようにしたい」「絶滅危機の動物を知り、守りたい」「動物と触れ合いたい」などがあつた。

◇ 自然について

問6 「季節が変わったな…」と感じるのは、どんなときですか？（複数回答）



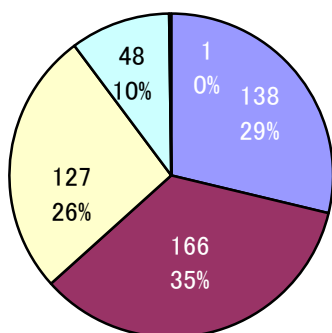
各校とも「あつさやさむさを感じる時」は 67%以上、「植物の葉の色や咲いている花をみて」は 55%以上の児童が選択していた。

なかでも、「あつさやさむさを感じる時」は、南小、中央小、北小で 80%以上と突出していた。

その他の記述では、「虫の種類や様子」「服装の変化」「人との会話」「星の位置」などがあつた。

問7 自然の中で遊んだり、自然の生き物にふれたりすることはありますか？

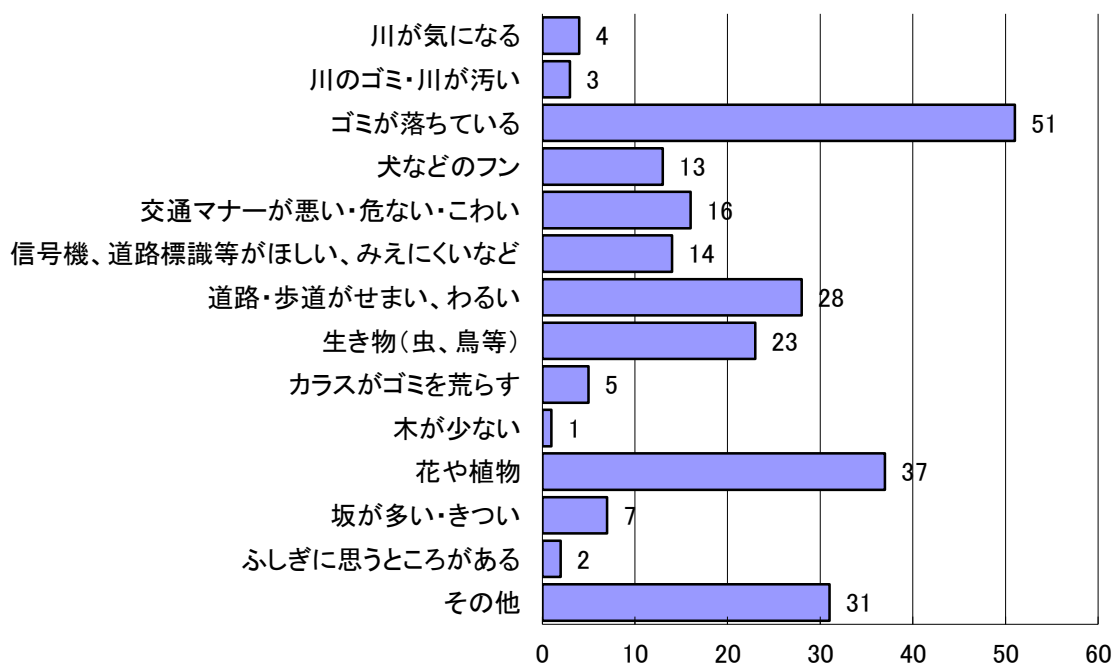
■ よくある(月に1回以上) ■ 時々ある(2～3ヶ月に1～2回)
■ めったにない(年に1～3回) ■ 全くない ■ 未回答



「よくある」「時々ある」を、各校とも半数以上の児童が回答していたが、特に北小では71%と多かった。

また、「めったにない」「全くない」は、府中小が44%で一番多く、北小が29%で一番少なかった。

問8 通学路で気になるところはありますか？



自由記述のため、大きな項目に分けて示した。214人の児童が気になるところを記述した。

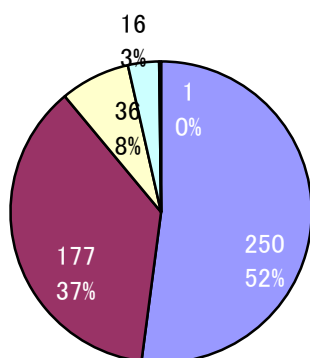
「ゴミが落ちている」については「たばこの吸殻が落ちている」、「道路・歩道がせまい、わるい」については「歩道がない・狭い・歩きにくい」、「花や植物」については「花がたくさん咲いている」「花を増やしてほしい」「花の蜜がおいしい」という記述が多かった。

その他の記述では、「ゴミ屋敷や古い建物」「不審者」「溝が多い」などがあつた。

◇ 公園について

問9 公園によく遊びにいきますか？

■ よく行く(週に1回くらい) ■ たまに行く(月に1～2回くらい)
■ めったに行かない(年に1～3回くらい) ■ 行くことがない ■ 未回答

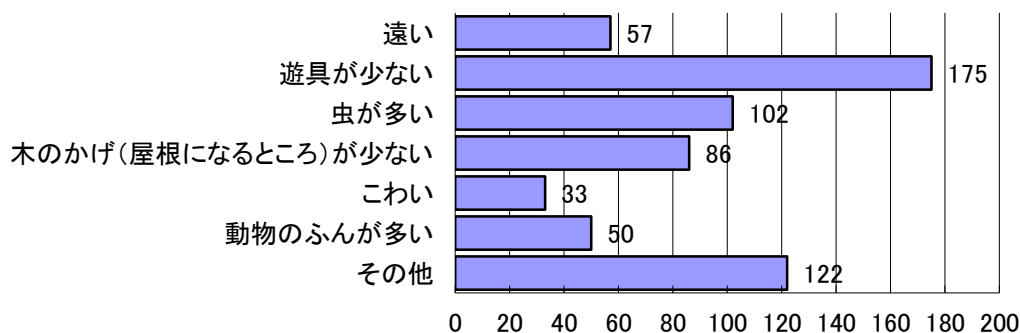


町内には13ヶ所の「都市公園」と40ヶ所の「児童遊園・広場」があり、「よく行く」は、中央小は48%で一番少なく、東小が63%で一番多かった。

「よく行く」「たまに行く」をあわせると、北小では95%の児童が回答している。

また、全体では、少しであるが増加している。

問10 公園に行かない理由で、ここがいやだということはありませんか？(複数回答)



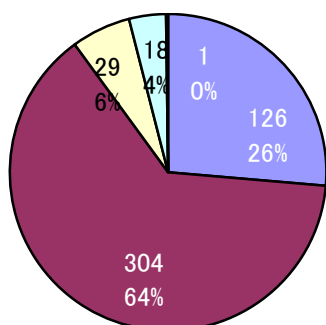
「遊具が少ない」は昨年と比べ、大幅に増えた。

自由記述の「何がこわいか？」では「ハチ」などの虫に関する記述が多かったが、「不審者」「トイレ」「けが」などの記述もあった。

その他の記述では「ボール遊びができない」が最も多く「トイレがない・汚い・狭い」「時間がない」などがあつた。

問11 公園の地面は、次のうちどれが良いと思いますか？

■ 土 ■ 芝生(しばふ) ■ アスファルト ■ その他 ■ 未回答



各校とも「芝生」が圧倒的に多く、「土」が続いた。

町内の芝生の公園は、寿仙坊児童遊園の1ヶ所(揚倉山健康運動公園のサッカー場は除く)である。

「芝生」が良いと思う理由では「転んでも痛くない」が最も多く、「気持ちいい」「けがをしにくい」などもあつた。

「土」が良いと思う理由では、「自然だから落ち着く」「走りやすい」「穴がほれる」などがあつた。

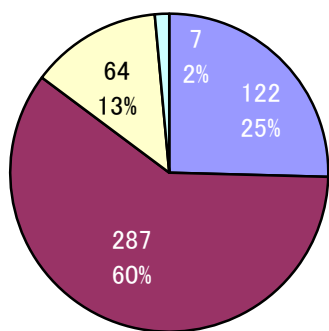
また、「アスファルト」が良いと思う理由では、「水たまりがでにくい」「ジェイボードができる」「走りやすい」などがあつた。

その他の記述では、「マット」「スポンジ」「綿」などがあつた。

◇ ごみについて

問12 道や川などに、ごみが落ちていますか？

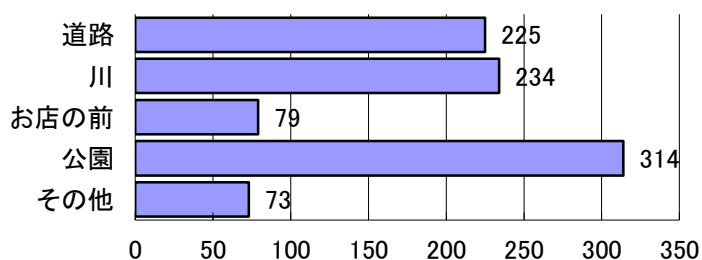
■ たくさん落ちている ■ 少し落ちている ■ あまり落ちていない ■ 未回答



「少し落ちている」が多く、「たくさん落ちている」が続いた。両方を合わせて 85%の子どもが、道や川などにごみが落ちていていると感じている。

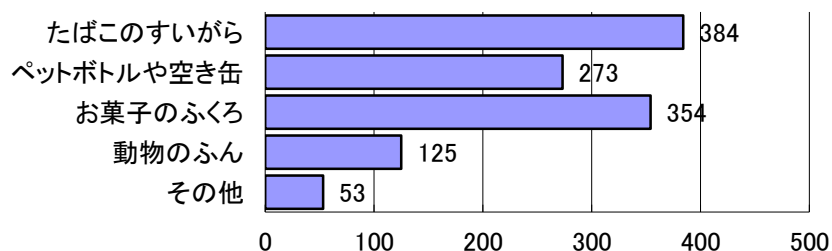
「たくさん落ちている」は、北小が 35%で一番多かった。また、「あまり落ちていない」は南小が 16%で一番多かった。

問13 とくに、どこに落ちているごみが多いと思いますか？（複数回答）



複数回答の設問で、「公園」が 65%で一番多く、「川」49%、「道路」47%が続いた。また、「公園」は東小が 77%、「川」は北小が 64%、「道路」は北小が 57%で一番多かった。その他の自由記述では「溝」「人目につかないところ」「学校」「駐車場」などがあつた。

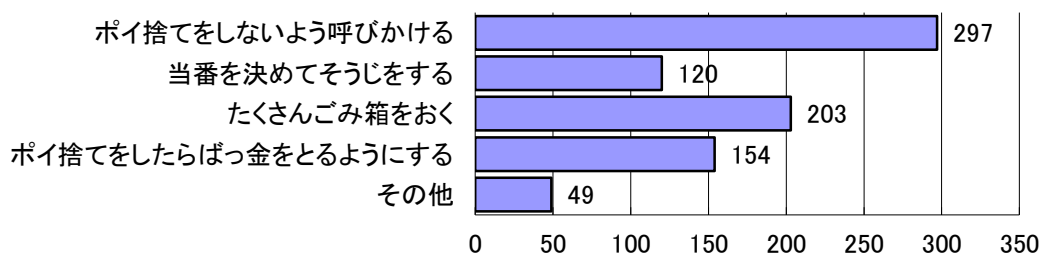
問14 どんなごみが多いと思いますか？（複数回答）



複数回答の設問で、府中小、南小、中央小は「たばこのすいがら」が一番多く、東小、北小では約 74%だが、その他の学校では 81%以上が回答していた。東小、北小では「お菓子のふくろ」が最も多く東小では 92%と突出していた。

その他の自由記述では、「レジ袋」「ガム」「ティッシュ」「生ゴミ」「紙くず」などがあつた。

問 15 ごみを減らすにはどうしたら良いと思いますか？（2つまで回答）



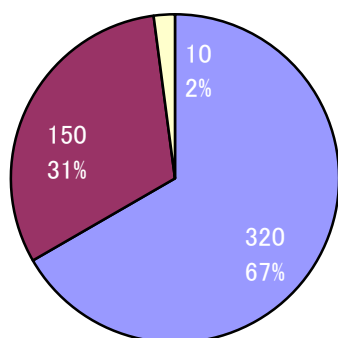
各校とも「ポイ捨てをしないよう呼びかける」が最も多かった。府中小・南小・中央小・東小では「たくさんごみ箱をおく」が続いたが、南小では「ポイ捨てしたらばっ金をとるようにする」が2番目に多かった。

その他の自由記述では、「ポスターや看板で呼びかける」「ごみが落ちていたら拾う」「自分も捨てないよう意識する」「捨てたくなるようなゴミ箱（中が万華鏡になっている）を置く」などがあつた。

◇ 景色や町並みについて

問16 府中町の中で、「お気に入りの場所」がありますか？

■ある ■ない ■未回答

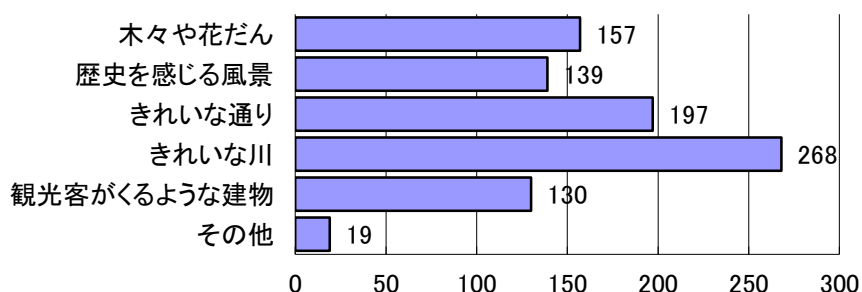


各校とも半数以上が「ある」と回答した。

「お気に入りの場所」は、「公園」が一番多く、「イオンモール」「学校」「くすのきプラザ・図書館」「バンビーズ・ハッピーズ（児童センター）」「みくまり峡」「学校」「おばあちゃんの家」「秘密基地」などの記述があつた。また、「公園」では空城山公園や揚倉山健康運動公園のほか、近所の公園の名前が多く見られた。

「その理由」の自由記述では、「公園」「児童センター」は「みんなで遊べる」「自然が多い」、「くすのきプラザ・図書館」は「たくさん遊べる」「静かで落ち着く」、「学校」は「みんながいる」、などが多かった。共通して、「楽しい」「落ち着く」という記述が多かった。

問 17 府中町の町なみ（町の風景）であつたらいいと思うものは何ですか？（2つまで回答）



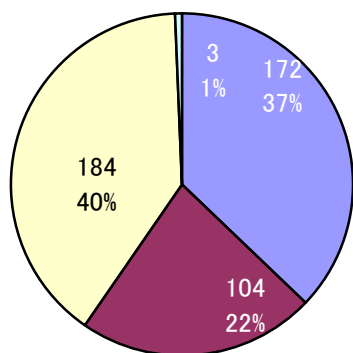
各校とも「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いた。

その他の自由記述では、「景色がいいところ」「自然・生きものが多いところ」「商店街」などがあつた。

◇ 地球温暖化について

問18 地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか？

■ ある ■ ない ■ 地球温暖化を知らない ■ 未回答

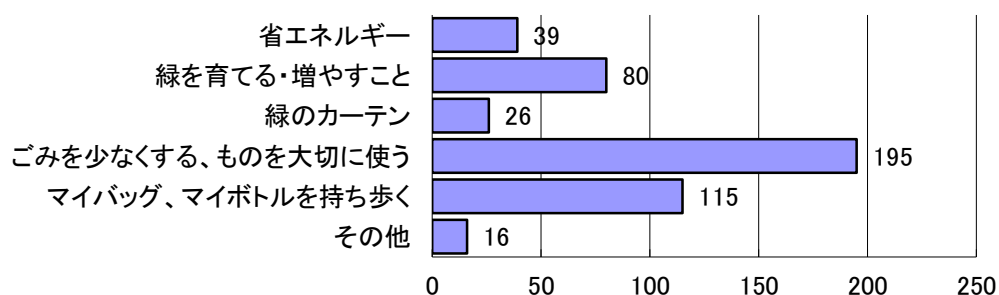


「ある」は、昨年の 52%から大幅に減った。府中小では 42%が回答したが、東小では 30%だった。

「地球温暖化を知らない」は、昨年の 17%から大幅に増えた。中央小では 29%だったが、北小では 52%が回答した。

「ある」が大幅に減り、「地球温暖化を知らない」が大幅に増えた。

どんなことをしていますか？（複数回答）



各校とも「ごみを少なくする、ものを大切に使う」が多かった。

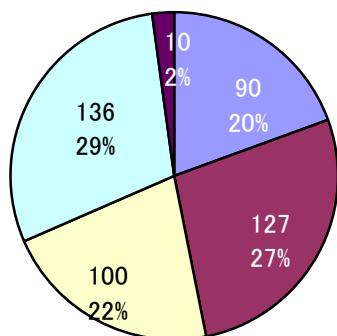
全項目で昨年より回答率が減った。

「省エネルギー」の自由記述では、「電気をこまめに消す・使わないときはコンセントをぬく」「水を出しすぎない」「エアコンを使う回数を減らす」などがあつた。

また、「その他」の自由記述では、「レジ袋をもらわない」「環境にいい洗剤を使っている」「3R」「リサイクル」「ゴミの分別」などがあつた。

問19 自分からみて、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動をやっていらっしゃると思いますか？

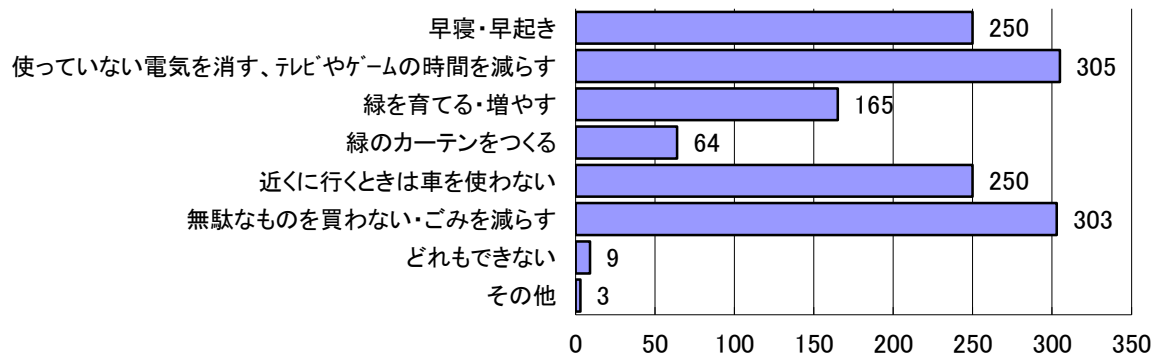
■ いつもやっている ■ 時々やっている ■ たまにやっている ■ ほとんどしていない ■ 未回答



69%の子どもが、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動を「やっている」と答えており、半数以上の家庭で何らかの地球温暖化を防ぐ行動が行われていることがうかがえるが、昨年の 77%から減った。

「ほとんどしていない」は昨年の 17%から大幅に増えた。

問20 地球温暖化を防ぐために、家族でできると思うことは次のうちどれですか？（複数回答）



複数回答の設問で、各校とも「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」が多かった。

「無駄なものを買わない・ごみを減らす」が大幅に増え、「緑を育てる・増やす」「近くに行くときは車を使わない」が大幅に減った。

その他の自由記述では、「食べ残しをしない」「エネルギーをあまり使わない」などがあつた。

◆◆◆ キッズ環境調査アンケートのまとめ ◆◆◆

このアンケートは、毎年、年度始め環境調査を行う前の子どもたちに行っています。

環境について調査・学習する前の子どもたちの意見を聴き、同じアンケートを同時期に継続して行うことで、子どもたちをとりまく環境の変化を調査することを目的としています。

平成 30 年度のアンケート結果について次のとおりまとめました。

◇山・川や池・生き物について

「山に行きたいと思いますか」という問いに対し 71%が「思う」に、「川に入って遊びたいと思いますか」という問いに対し 86%が「思う」に回答しているとおり、自然の中で遊びたいと思う子どもが多いことを示している。また、「川に入って遊びたい」と回答した子どもがより多いことから、府中町の子どもたちにとって、山よりも川の方が身近に感じられていると思われる。

「山や川、生きものについて、それぞれ自分がやりたいこと」の問いに対し、「山を手入れしたい」が一番多く、「ゴミを捨てないようにする」は大幅に減った。

また、「植物や生き物の調査・勉強をしたい」との回答が増えており、植物や生き物への関心が高まっていることがうかがえる。

◇公園について

「公園によく遊びにいきますか」の問いに対し、89%の子どもが月に 1 ～ 2 回以上公園を利用しているが、昨年と比べ減っている。

「公園に行かない理由」の問いでは、「遊具が少ない」「虫が多い」が多く、その他では「ボール遊びができない」「トイレがない・汚い狭い」という回答が多く、子どもたちの要望・課題としてとらえることができる。

◇ごみ（ポイ捨て）について

「道や川などにごみが落ちていると思いますか」の問いに対し「ごみが落ちている」と感じている人が 85%をしめている。

「通学路で気になる場所は」という問いでも「ごみが落ちている」の回答が多く、ごみのポイ捨てへの関心が高いことがうかがえる。

「とくに、どこに落ちているか」の問いに対し、「公園」「川」「道路」の順で多く、「どんなごみが多いか」に対しては、「たばこのすいがら」「お菓子のふくろ」「ペットボトルや空き缶」の順が多かった。

ポイ捨てを減らすにはどうしたら良いと思うかの問いに対し「ポイ捨てをしないように呼び掛ける」が多く、その他では、「ポスターや看板で呼びかける」「ごみが落ちていたら拾う」「捨てたくなるようなゴミ箱（中が万華鏡になっている）を置く」との回答が多かった。

◇景色や町並みについて

「府中町の中で、お気に入りの場所がありますか」の問いに対し、「自宅や自分の部屋」を除く場所で67%が「ある」と回答した。お気に入りの場所は、「公園」「児童センター」「くすのきプラザ」が多く、よく行く場所とともたえることができる。

「あったらいいなと思う町並み（町の風景）は」の問いに対し、「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いた。前述の問いから「行きたいと思う場所」ととらえることができる。

◇地球温暖化について

「地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか」の問いに対し、「ある」の回答が37%で昨年より15%減少した。

「どんなことをしているか」との問いに対し、「ごみを少なくする、ものを大切にする」「マイバッグ、マイボトルを持ち歩く」が多かった。

「家族でできると思うことは」の問いに対し、「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」の順で多かった。

◇まとめ

「府中町の好きなところはどこですか」と自由記述で書いてもらったところ、「自然が多いところ」「公園等遊べる施設が多い」「人がやさしい・親切」と多くの子どもたちが回答している。それに続いて「お店や施設があって便利」が多く、子どもたちにとって「自然」もあり「便利」な町と思う児童が多いと推察される。

また、「山・川などで自分がやりたいこと」で、「調査・勉強したい」「木の手入れをしたい」の項目で回答が大幅に増えていることから、山や自然に対して関心・愛着が増加していることがうかがえる結果となった。

ごみ（ポイ捨て）については、たばこの吸殻や、菓子袋などのポイ捨てが多いという回答が多かった。

また、公園へ落ちているという回答が大幅に増え、ごみ環境の悪化がわかる結果となった。

キッズ環境調査プロジェクトでは、今後も、継続的に子どもたちの思いを地域や関係団体に発信し、環境への取組みのヒントとして活用していただけることを期待している。

その第一歩として、まずは、地域ボランティアの育成と活動の促進を軸に、今後も、地域と学校をつなげるような働きかけをしていきたい。

平成 31 年 3 月

府中町キッズ環境調査プロジェクト連絡協議会

事務局：府中町生活環境部環境課（環境政策係）

〒735-8686 広島県安芸郡府中町大通三丁目 5 番 1 号

電話：082-286-3247 FAX：082-286-4022

◆連絡協議会

第1回：平成30年5月8日（火）午後4時から くすのきプラザ 1階 会議室

第2回：平成31年1月31日（木）午後4時から くすのきプラザ 1階 会議室

◆環境出前講座、講師派遣の斡旋（キッズ環境調査プロジェクト）

H30.06.04(月)	水分峡森林公園	府中小学校 4年生（4学級）	130名	「水辺教室」
H30.06.12(火)	水分峡森林公園	府中北小学校 4年生（2学級）	59名	「水辺教室」
H30.06.15(金)	水分峡森林公園	府中東小学校 4年生（2学級）	64名	「水辺教室」
H30.08.07(火)	エネルギー総合 研究所	公募 （4年生以上）	10名	「エネルギーや地球温暖化を 楽しく学ぼう」

◆活動物品の支援

デジタルカメラ、用紙類、文房具、プリンターインクなど 174,181円

◆活動発表・展示・広報など

展示：平成31年3月14日（木）～18日（月） 府中南公民館ロビー

平成31年3月20日（水）～26日（火） くすのきプラザ 1階 ギャラリー

広報紙（平成30年3月号、6月号、）

府中町公式ホームページ（平成30年6月更新）

その他、関係団体への情報発信

◆キッズ環境調査プロジェクトから生まれた地域の環境活動

H23～ 榎川（役場前）の定期清掃 （府中町公衆衛生推進協議会）

H23～ たばこのポイ捨て防止キャンペーン （府中町公衆衛生推進協議会）